



図書館だより



令和6年 11 月号
一条中学校図書館



読書の秋、みなさん読書をしていますか。読書はしているけれど、学校の外では学習や習い事、遊びや趣味に打ち込み、読書をするのは少ないのではないのでしょうか。

学校で毎日行っている朝の10分間読書は、1日の生活の中では非常に僅かな時間ですが、生徒のみなさんにとって読書をする貴重な機会になっています。朝の読書の時間だけでも読みたい本を準備して、集中して読書に臨むようにしましょう。



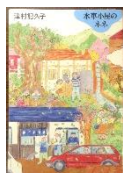
＊あたらしいほん＊

今回は新しく入った本の中から、本屋大賞ノミネート作、裏面では直木賞受賞作、その他の新着本（書名など）を紹介します。読書の参考にしてください。

もう読んだ？ 2024年本屋大賞

今年の本屋大賞受賞作やノミネート作はもう読みましたか。本屋大賞とは、全国の書店員が選んだ一番売りたい本が大賞を受賞します。大賞が決定するとニュースでも報道され、書店では目立つ場所に本が並び、公共図書館では大賞やノミネート作の予約が殺到します。

今回は、今年度学校に入った本屋大賞ノミネート作から3冊を紹介します。（大賞『成瀬は天下を取りに行く』宮島美奈（新潮社）、9位『星を編む』凧良ゆう（講談社）は昨年度から学校に入っています。）



高校を卒業した18歳の理佐は、自分と8歳の妹を理不尽に扱う母親と、その婚約者の元を離れることを決意します。その後理佐は、鳥の世話があるという蕎麦屋へ就職し、知らない土地で妹と2人で暮らし始めます。頼りにできる人や、必要な物も揃わないところから始まった姉妹の生活でしたが、水車小屋の鳥ネネと、周囲の人々との関わり合いの中で、次第に信頼できる人や場所を得て人生を歩んでいきます。

『水車小屋のネネ』津村記久子（毎日新聞出版）913 ユ



日の出公園にいるカバのアニマルライド「カバヒコ」には、自分の治して欲しい部分を触ると治るといふ都市伝説がありました。身体の不調や心の悩みを抱えた5人の主人公は、それぞれの悩みを「カバヒコ」に話し、不調がある部分を触り回復を願います。

リカバリしたいことがあるなら、この本を読んで「カバヒコ」に会いに行ってみませんか。不思議と心のどこかがリカバリされているかもしれませんよ。

『リカバリ・カバヒコ』青山美智子（光文社）913 ア



小学4年生のミステリトリオが学校で巻き起こる事件に挑むミステリシリーズの第1巻です。ミステリ小説好きの名探偵「辻堂天馬」の推理で、事件の手がかりが少しずつ示されているので、事件を推理しながら読み進めてみてください。

本作は児童書として初めて本屋大賞にノミネートされました。小学生でも読めるようにルビが振ってあり、挿絵も豊富で読みやすいので、読書が苦手な人にもおすすめです。

『放課後ミステリクラブ1 金魚の泳ぐプール事件』知念実希人（ライツ社）913 チ

『存在のすべてを』塩田武士（朝日新聞出版）913 シ

『スピノザの診察室』夏川草介（水鈴社）913 ナ

『君が手にするはずだった黄金について』小川哲（新潮社）913 オ など



ノミネート
作、ほかにも
あります。

第170回 直木賞（直木三十五賞）受賞作

今年の1月に直木賞を受賞した『八月の御所グラウンド』万城目学（文藝春秋）は、京都を舞台にした青春小説です。直木賞受賞作は何か難しそうという心配はいりません。中学生のみなさんにもおすすめの作品ですので、ぜひ挑戦してみてください。



大学4年生の朽木は、楽しみにしていた夏休みの計画が崩れ、暑さの厳しい夏の京都に残っている自分を敗者のように感じていました。そこへ高校からの同級生で、同じ大学に通う多聞から、早朝の御所グラウンドで催される謎の草野球大会「たまひで杯」への参加を頼まれます。朽木は多聞に食事をごちそうしてもらい、借りたお金も返していないため、「たまひで杯」へ参加せざるを得なくなります。8月の御所グラウンドで起こることとは。

『八月の御所グラウンド』万城目学（文藝春秋）

- 『13歳からの学部選び』東大カルペ・ディエム（星海社）00 ト
- 『宇都宮とジャズ』うつのみやジャズのまち委員会/編集（下野新聞社）09 ウ
- 『改訂新版 朽木の山150』朽木県勤労者山岳連盟 宇都宮ハイキングクラブ/編（随想舎）09 ト
- 『世界を「数字」で見てみたら』佐々木曜/編集（ブティック社）04 セ
- 『セルフケアの道具箱』伊藤絵美（晶文社）14 イ
- 『アメリカの中学生が読んでいる 14歳からの世界史』ワークマンパブリッシング（ダイヤモンド社）20 ワ
- 『中学校で習う歴史が教えられるほどよくわかる』切替一薫（ベレ出版）21 キ
- 『戦国人物伝 小早川秀秋』加来耕三/企画・構成・監修（ポプラ社）28 コ
- 『戦国人物伝 宇喜多秀家』加来耕三/企画・構成・監修（ポプラ社）28 ウ
- 『車いすの図鑑』高橋儀平/監修（金の星社）36 タ
- 『福祉用具の図鑑 目や耳の働き・発達障害を助ける』徳田克己/監修（金の星社）36 ト
- 『福祉用具の図鑑 手や足を助ける』徳田克己/監修（金の星社）36 ト
- 『ヤングケアラー』濱島淑恵/監修（文溪堂）36 ハ
- 『和食の教科書』足立己幸/編集（文溪堂）38 ア
- 『伝統の和食から現代のWASHOKU』こどもくらぶ/編（あすなろ書房）38 ハ
- 『食べて楽しむ 科学実験図鑑』尾嶋好美（SBクリエイティブ）40 オ
- 『中学校3年分の数学が教えられるほどよくわかる』小杉拓也（ベレ出版）41 コ
- 『10代のための疲れた体がラクになる本』長沼睦雄（誠文堂新光社）49 ナ
- 『キッチンラボ どうしてそうなる？実験レシピ』露久保美夏（偕成社）59 ツ
- 『東大×マンガ』東大カルペ・ディエム（内外出版社）72 ト
- 『圧倒的な力で世界を切り拓く 大谷翔平の言葉80』桑原晃弥（リベラル社）78 ク
- 『大谷英語』太刀川正樹（飛鳥新社）78 タ
- 『中学校3年分の英語が教えられるほどよくわかる』長沢寿夫（ベレ出版）83 ナ
- 『メディウム 霊媒探偵 城塚翡翠』、『インヴァートⅡ 覗き窓の死角』相沢呼沙呼（講談社）913 ア
- 『歌われなかった海賊へ』逢坂冬馬（ハヤカワ書房）913 ア
- 『本好きの下剋上 貴族院外伝 一年生』香月美夜（TOブックス）913 カ
- 『ガリレオの事件簿 1』東野圭吾（文藝春秋）913 ヒ
- 『クスノキの女神』東野圭吾（実業之日本社）913 ヒ
- 『にゃははな毎日 銭天堂の招き猫たち』廣嶋玲子（偕成社）913 ヒ
- 『ややの一本 剣道まっしぐら！』八槻綾介（ポプラ社）913 ヤ
- 『凜として弓を引く 青雲篇』、『凜として弓を引く 初陣篇』碧野圭（講談社）B913 ア
- 『楽園の鳥』、『追憶の鳥』阿部千里（文藝春秋）B913 ア
- 『京都寺町三条のホームズ21』望月麻衣（双葉社）B913 モ など

朽木、宇都宮の関連本。

人気の伝記シリーズです。



東大生はどのようにマンガを読んでいるのかが分かります。



大谷翔平選手関連本。



人気の東野圭吾さんの本もあります。



鳥シリーズは、他にも数冊入りました。

最新情報は一条中学校図書館クラスルームをチェック！

今年度開設した学校図書館のクラスルームはもう覗いてくれましたか。10月末ぐらいから、「クラスルームで新着本の情報を見て本を借りに来ました。」という生徒の声も耳にするようになってきました。クラスルームでは新着本のほか、お知らせなども随時投稿しています。ぜひチェックしてみてください。

